

日時：令和2年9月17日（木） 9：30～10：30

場所：リハ福祉センター 2F 第1研修室

高松市障害福祉課、障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、障害者相談支援センターりゅううん、地域活動支援センタークリマ、支援センターこがも、相談支援事業所ライブサポートセンター、あじの里地域生活支援センター、児童発達支援センターkusuの木、生活支援センターサンサン、相談支援事業所おりがみ、相談支援センターしのめ、相談支援事業所夢、自立ケアシステム香川、高松市社会福祉協議会障がい者相談支援センター、相談支援事業所ウェルネスサポート、相談支援事業所きやら、障害者相談支援事業所かつが、支援センターキラキラ、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、相談支援事業所EVEN、相談支援センターフリーダム、相談支援事業所シエント、相談支援事業所ナビット、みき相談支援センター、三木町（28機関）

## 議題

### 1 部会の開催及び相談支援専門員の今後について

#### ○相談支援部会の開催について

コロナ下での毎月の開催について参加者から意見を募る。

手指消毒やマスク着用などできる対策を行いながら集まる方向で決まる。

今後も県下の感染拡大状況に合わせ判断は必要になってくる。

#### ○会場設営や記録について

会場設営、記録について当番制を実施していく。

○相談支援専門員の人材育成ビジョンについて共有し、香川県下の相談支援専門員の育成モデルとして広めていくことになった。各相談支援専門員に行きわたるようにし、時々振り返り、これを指針にして研鑽を重ねていく。

### 2 情報提供、共有について

- ・新しい事業所の紹介や、事業所内の管理者の変更等の紹介がありました。
- ・高松市より障害者の災害時の避難についてサービスにつながっている方については計画の中に入れることになっていたと思うが、新規の方についても引き続き計画に入れるようお願いしたい。
- ・三木町安否確認事業について香川県相談支援専門員協会が委託を受け、50事業所に確認した。6ケースほど心配なケースがあったが、TELで確認したところ大丈夫だった。以前から生活に不安がある人だったため、継続してフォローする。聞き取りの中では、事業所よりも送迎が不安で利用を控えているといった方もいた。また取りまとめて報告する。
- ・社会生活力講座について案内がありました。福祉センターでは、障がいのある方が社会で主体的に生活していく力をつけていくきっかけづくりとして社会生活力講座を開催する。担当している当事者の中で対象となるような方がいれば、紹介してもらいたい。
- ・高次脳機能障害関係職員研修会について高次脳機能障害に新たに関わる支援者にむけの研修を行う。10/30、12/14の両日開催予定。案内をこれから送付する予定なので、新しい方などに受けてもらいたい。

### 3 計画相談の受入れ状況について確認を行いました。

### 4 地域課題について

- ・現在のGSVの状況確認を行いました。  
GSVしたこと、概略や地域課題など集約し、相談部会で報告をしていく。

・日常生活用具について

特殊マットなど、何年も支給上限額が変わっていない。マットの質や物価も上がるなかで上限額が適正でない。今後、行政担当者と話を進めていく予定。

○その他

・短期入所使える施設少なく困っている。

→新しい事業所の情報や、緊急時のショートについて情報交換がある。

→高松市として、デイサービスの利用混雑やショートステイの利用のしにくさについて、担当者レベルでは把握している。デイサービスの支給決定について国の事務処理要領よりも厳しく運用しているが、家庭の事情によって判断したいと考えているので相談して欲しい。また、障害者プラン改訂のアンケートにもサービス事業所についてのご意見もいただいているので対応していきたい。

→三木町としては、サービスが利用出来なくて困っているといった事案は確認できていない。もしあれば、相談してもらいたい。

・児童の支援について性教育等の情報や対応、県内の資源について知りたい。

→いつ頃、どこで、どのようにしているのか、本人はどう思っているか、学校での様子はどうかなど確認する。本人がそうしないで良い方法を考え、環境を整える必要がある。少年鑑別所地域相談もあるが、障害に特化したものではないので、下準備は必要だろう。

→近くの警察署生活安全課の方が、そのようなことをした時はどうなるか説明してくれたこともあった。

次回予定 令和2年10月15日(木) 9:30~10:30  
場 所 リハセンター 2階 第1研修室